

平成25年3月13日

只見町議会議長 齋藤邦夫 様

総務厚生常任委員会委員長 佐藤孝義

総務厚生常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

記

1. 所管事務調査事項

- (1) 行財政改革に関する調査
- (2) 少子高齢化に関する調査
- (3) JR 只見線の利活用に関する調査

2. 具体的な調査内容と結果

調査事項

- (1) 只見町下請等共同作業所「建物の無償譲渡」及び「土地の無償貸付」に関する調査

○調査理由

国、県の補助事業により整備した当該施設について、目的外使用の期限が切れるため「建物の無償譲渡」及び「土地の無償貸付」が行われるにあたって適正な内容であるか調査するものである。

○調査方法 事務調査

○調査日 平成25年1月18日、1月31日、2月18日

○出席委員 佐藤孝義委員長、目黒仁也副委員長、鈴木征委員、山岸フミ子委員、藤田力委員、齋藤邦夫委員

○調査結果及び意見

当委員会における調査の結果、(株)スミタフォトニクスへの下請等共同作業所の施設については、将来の有効利用の視点を踏まえ、補助金を返還してでも町の施設とし、無償譲渡でなく適正な価格によって貸与する方法を進める事とすることで結論に達した。

今回の事件については、議会への説明了承を得ないまま会社と当局間で話を進めていたのは極めて遺憾である。また、当局は事前に様々な選択肢を検討すべきであり、今後は、正しく誠実な視点に立っての行政事務を執行されるように特に注意すべきである。

(2) 灯油ボイラー、木質バイオマスボイラーの比較検討に関する調査

○調査理由

従来型の化石エネルギー政策から、自然エネルギーの公共施設への利用促進に向けての前段として、比較検討の調査とするものである。

○調査方法 事務調査

○調査日 平成25年1月18日、1月31日

○出席委員 佐藤孝義委員長、目黒仁也副委員長、鈴木征委員、山岸フミ子委員
藤田力委員、齋藤邦夫委員

○調査結果及び意見

エコパークの申請、自然の豊かさを売りとしている只見町ではクリーンエネルギーの使用は必要不可欠である。3年後あたりを目途に木質バイオマスボイラーの導入の計画と併せて、PFI（民間資金等の活用）導入の検討も必要である。

また、燃料供給として町全体の木材を利用する計画の検討をすべきであるとの意見が出されている。当局では、早急に検討作業を進めるべきである。

(3) JR 只見線の早期全線復旧に関する調査

○調査理由

平成23年7月新潟・福島豪雨災により甚大な被害を受けた JR 只見線の早期全線復旧に向けての調査をするものである。

○調査方法 事務調査

○調査日 平成25年1月18日、2月18日

○出席委員 佐藤孝義委員長、目黒仁也副委員長、鈴木征委員、山岸フミ子委員
藤田力委員、齋藤邦夫委員

○調査結果及び意見

JR 只見線の全線復旧には、莫大な復旧費用と日数がかかるものである。この点をふまえ、沿線町村、議会は数回にわたり中央要望をしてきた。この間、福島県が財政支援の見解を示し、今後の運動に弾みをもたらしております。

今後は、只見線活性化対策協議会を軸に、沿線住民を巻き込んだ復旧、復興運動が必要不可欠なものとなります。JR 只見線の全線復旧を切に望むアピール対策を講じて、住民運動の展開につなげるべきである。

(4) 公共施設の在り方に関する調査

○調査理由

当局より、只見総合開発センター、旧明和小学校体育館、旧東北電力小林サービスセンターの各施設について処分の提案があり、適正な公共施設の在り方について調査をするものである。

○調査方法 事務調査

- 調査日 平成25年2月18日、3月1日
- 出席委員 佐藤孝義委員長、目黒仁也副委員長、鈴木征委員、山岸フミ子委員
藤田力委員、齋藤邦夫委員

○調査結果及び意見

取壊しの提案があった施設の中で、公共施設等再配置調査特別委員会よりの調査結果で議会の結論の出ている施設もある。旧東北電力小林サービスセンター以外の施設については、地域住民との十分な話し合いの場が必要であり継続審議とした。

以上